

Cyber Portを活用したデータマネジメント

貿易手続デジタル化促進セミナー

2025年6月17日
エフシースタンダードロジックス株式会社

 **FC Standard Logistics**
指先でロジスティクスできる未来へ。



FCSLの事業概要



補助金申請の経緯



実施した補助事業の概要



導入時に直面した課題



補助事業によって得られる効果



FCSLの事業概要 (1/2)

会社案内



当社の使命は、国際物流を簡素化することです。

複雑、わかりにくい、規制が多い、
どこにあるかわからない、コントロールできない、
そんな国際物流を簡単にご利用できるようにいたします。

Our Mission is to simplify the cross-border transportation.



社名	エフシースタンダードロジックス株式会社 FC STANDARD LOGISTICS CO.,LTD.
所在地	〒541-0056 大阪市中央区久太郎町2-4-11 クラボウアネックスビル 14階
代表者	代表取締役 松本 光市
創立	2000年5月1日
設立	2006年3月6日
国内関連会社	中外海運倉庫株式会社
主な事業内容	国際複合一貫輸送業、通関業、 第2種貨物利用運送事業（外向海運、貨物自動車、国際航空）、 一般港湾運送事業、航空運送代理業、倉庫業、輸出入代行業、損害保険代理業
売上高	2024年3月期売上高 91億円
従業員数	日本国内グループ 152名（海外グループ全体約1,200名）※2025年2月1日現在
資本金	5,000万円（当社単体）
国内事業所	大阪本社・東京支店・名古屋営業所・摩耶倉庫・大阪LC・東京DC
海外事業所	中国 大連・天津・青島・煙台・威海・上海・寧波・南通・廈門・深圳 ベトナム ホーチミン ミャンマー ヤンゴン
加入団体	JIFFA、IATA、UCN（フォワーダー世界ネットワーク）

FCSLの事業概要 (2/2)

ビジネス環境の変化と当社の特徴

当社は煩雑で面倒・状況が把握しづらい・複雑な国際物流を変えます。
特に中国からの輸入における強みを高く評価していただき、多くのお客様に選ばれています。

重要性を増す 国際物流サービス

経済がグローバル化し、物流サービスにもグローバル化の対応が必須

昨今特に中国、東南アジアからの輸入が増加

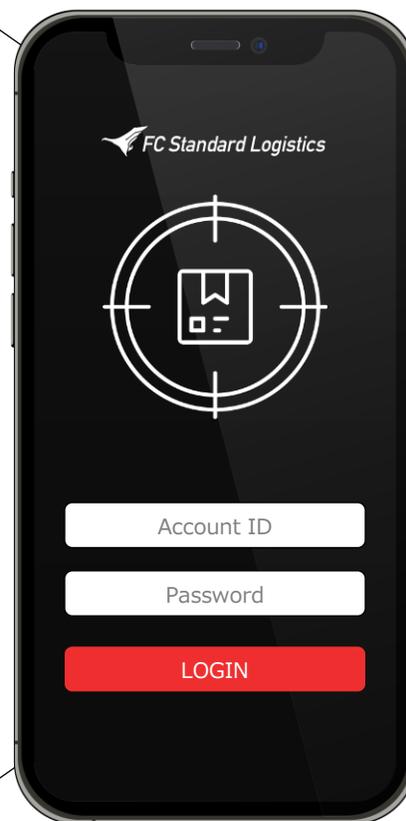


現地主導から自社主導の物流への変化

これまでは「わかりにくい・面倒」という理由から、多くのお客様が物流を中国任せ・現地メーカー任せ

しかし、ネット通販・越境ECの普及により、物流はBtoBからBtoB/BtoBtoCへと小口化が進む

物流意識が高まるなか、エンドユーザーの要求に対応するため、コスト削減・スピーディーな納品・配送品質の向上に向け、自ら物流のコントロールに乗り出すお客様が増加



当社の特徴

Strength 1

Digital

国際物流でもDXを推進し
見える化とデジタル
フォワーディングを実現

Strength 2

Simple

指先ひとつで、
自由に国際貿易ができる
世界を目指して

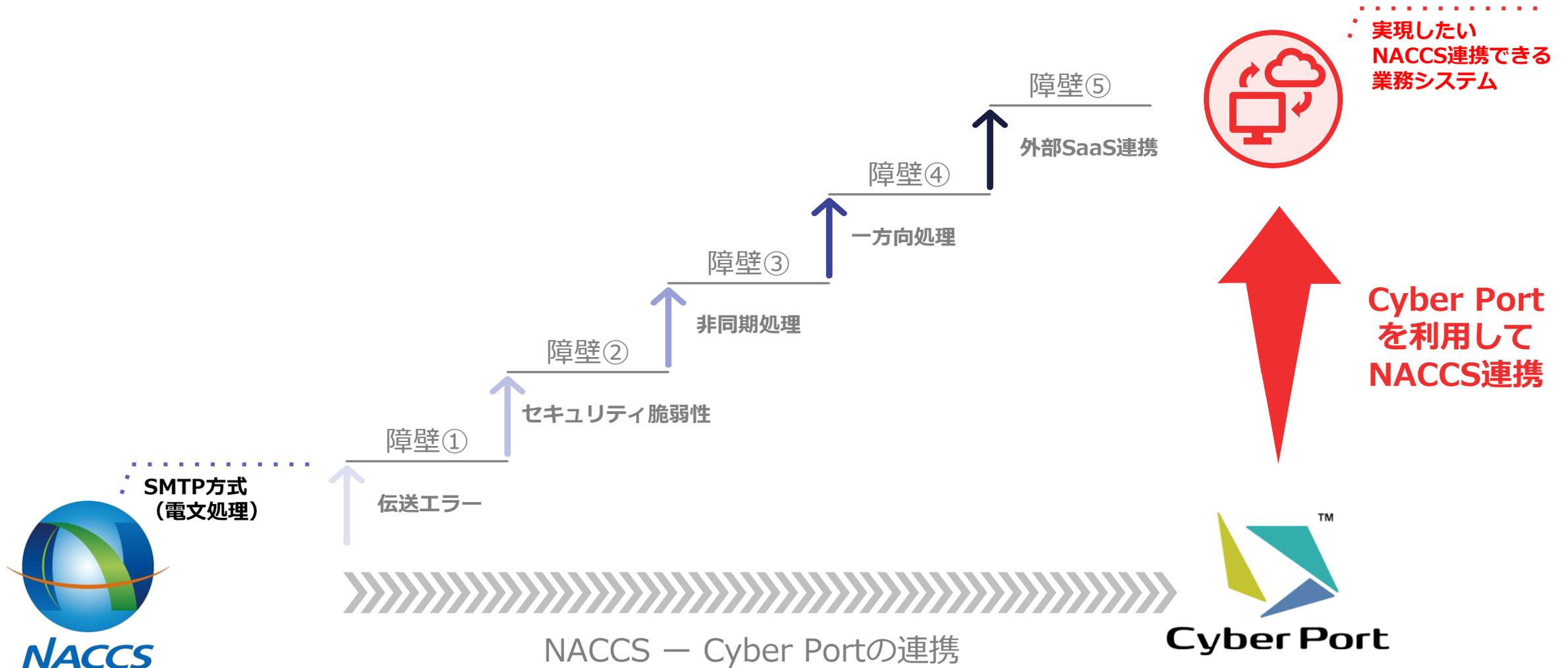
Strength 3

Seamless

シームレス物流で
お客様のビジネスを
強かにサポート

補助金申請の経緯（貿易手続の課題等）

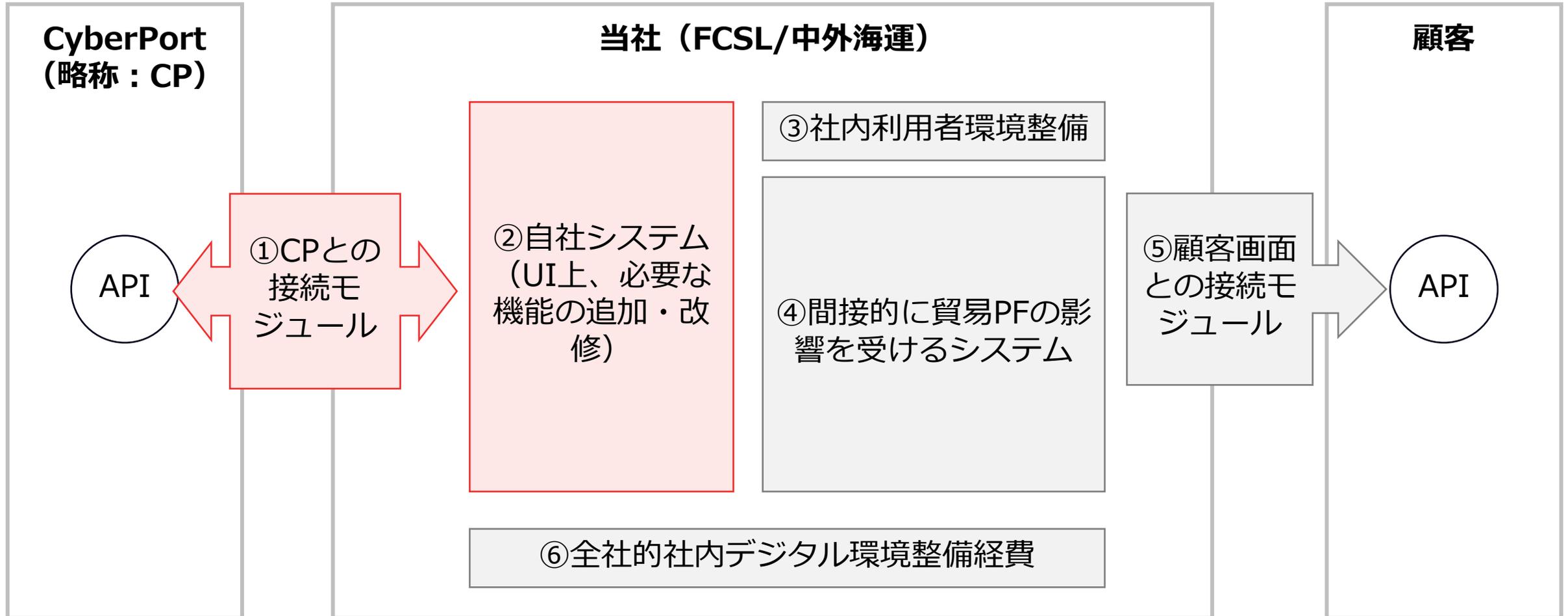
Cyber Port（以下略称、CP）を介して、NACCSと連携できる可能性を見出した



実施した補助事業の概要

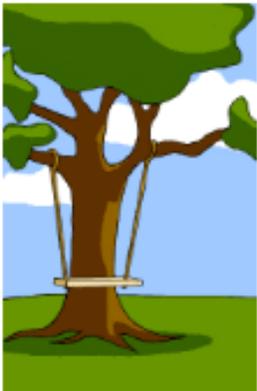
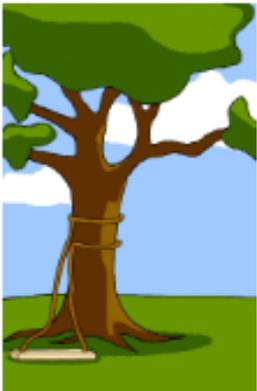
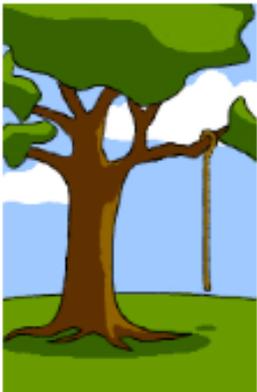
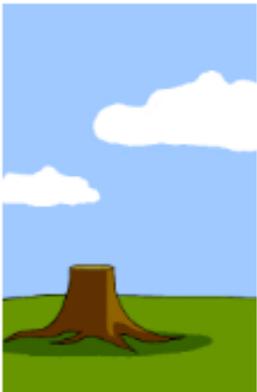
CyberPortを利用した業務システムによる業務効率化

赤色ハイライトが本対象



導入時に直面した課題 (1/3)

「ブランコの木」の風刺画を体現したような失敗を生じた

 <p>業務・通関の 説明内容</p>	 <p>PJOの理解</p>	 <p>PdMの設計</p>	 <p>開発Tの開発</p>	 <p>外部資料の表現</p>
 <p>テスト実施</p>	 <p>実際の運用</p>	 <p>リリース後の改修</p>	 <p>外部サポート</p>	 <p>業務・通関の 望んでいたもの</p>

[Qiitaの記事](#)より参照より参照

導入時に直面した課題 (2/3)

業務メンバーや開発チームの事前準備により、リリース時に発生した問題を解消することができた

生じた問題

INPUT

- ✓ 帳票を正しく作成していない
- ✓ 外部システムとCPの連携項目の不一致

PROCESS

- ✓ 基本機能を利用者が理解していない
- ✓ NACCS連携時の改行バグ
- ✓ CP内の各項目と帳票間の連携を把握できない

OUTPUT

- ✓ 社内システムとデータ連携の不備
- ✓ CP内に業務上の必須機能がない
- ✓ 業務トリガーの通知機能などUIに不備

課題

- ✓ 業務・通関-開発チーム間のコミュニケーションが不十分
- ✓ テスト検証（リソース・テスト項目・テスト結果分析）が不十分

- ✓ 開発チームが提供資料への理解が不足
- ✓ テスト検証（リソース・テスト項目・テスト結果分析）が不十分

- ✓ 業務・通関-開発チーム間のコミュニケーションが不十分
- ✓ Cyber Portの機能不足（レスポンスが遅いなど）

導入時に直面した課題（3/3）

システムリリース後にもいくつか対策を実施

課題

INPUT

- ✓ 業務・通関－開発チーム間のコミュニケーションが不十分
- ✓ テスト検証（リソース・テスト項目・テスト結果分析）が不十分

PROCESS

- ✓ 開発チームが提供資料への理解が不足
- ✓ テスト検証（リソース・テスト項目・テスト結果分析）が不十分

OUTPUT

- ✓ 業務・通関－開発チーム間のコミュニケーションが不十分
- ✓ Cyber Portの機能不足（レスポンスが遅いなど）

対策

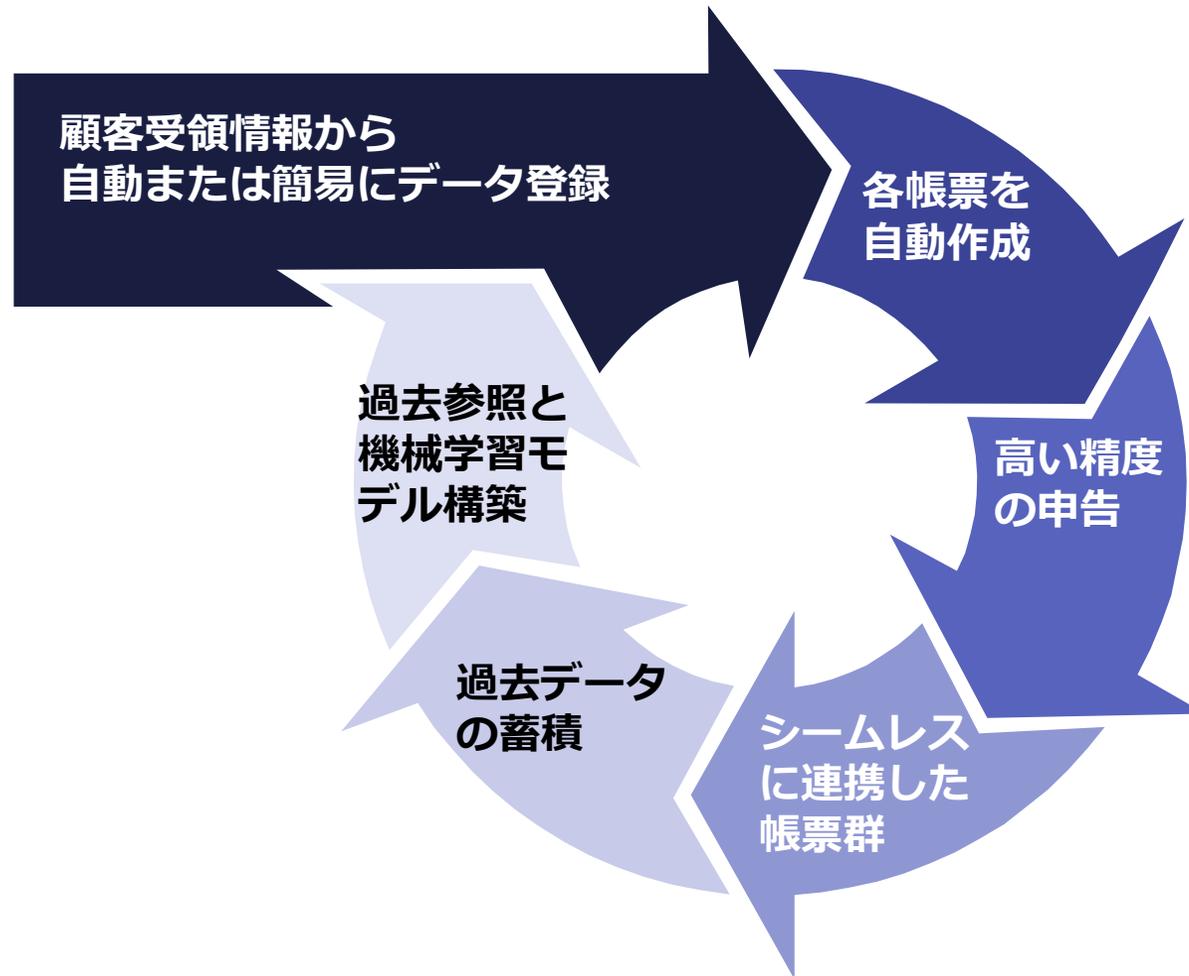
- ✓ 事業部－開発チーム間での相互勉強会
- ✓ 問合せ管理ツールの導入
- ✓ 本番環境上にて数件の実案件テスト

- ✓ システム導入に最適な人材を事業部側から選出
- ✓ 本番環境上にて数件の実案件テスト

- ✓ 事業部－開発チーム間での相互勉強会
- ✓ 問合せ管理ツールの導入
- ✓ 補助機能を開発

補助事業によって得られる（または期待する）効果

各種データを連携させることより、貿易実務にて作成する帳票作成の半自動化と精度向上



ご清聴ありがとうございました

当社サービスに興味があれば

問合せ

<https://fcstandard.com/main/contact/>

メール

fcsi@fcstandard.com

サービス

<https://fcstandard.com/main/service/>

よりCyber Portについて議論があれば

担当

業務推進部 佐野

メール

service-admin@fcstandard.com

コメント

CP利用や補助金申請に関して、色々ご相談ください！

